

(林野庁)

徳島発の 政策提言

Only one Tokushima



平成26年12月

 徳 島 県

地方創生に向けた「林業の成長産業化」の実現について

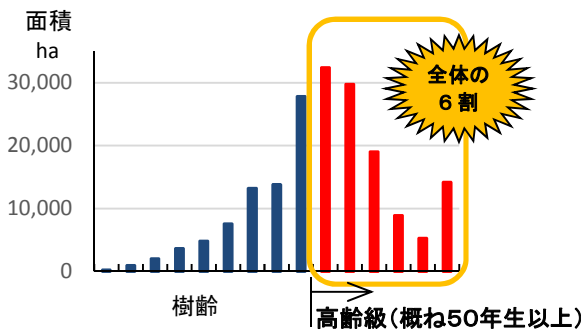
主管省庁(財務省主計局, 農林水産省林野庁, 経済産業省製造産業局・資源エネルギー庁
国土交通省住宅局, 環境省地球環境局・総合環境政策局)

【現状と課題】

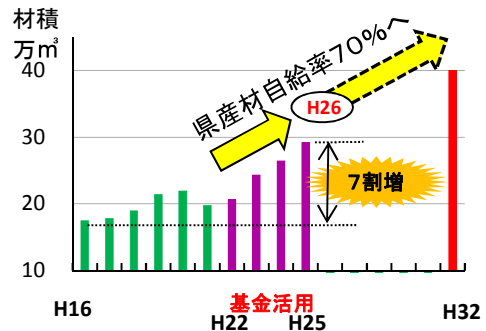
直面する課題

- 「森林整備加速化・林業再生基金事業」が平成26年度で終了するため、林業の成長産業化に資する**施策の減速が懸念**される。
- 住宅着工戸数が回復の兆しを見せる中、平成26年度の「消費増税」や「木材利用ポイント事業」の終了により、**木材需要の急激な減退が危惧**される。
- 「平成26年税制改正大綱」を踏まえて、森林吸収源対策に要する**安定的な財源の確保**について早急に総合的な検討を行うことが求められる。

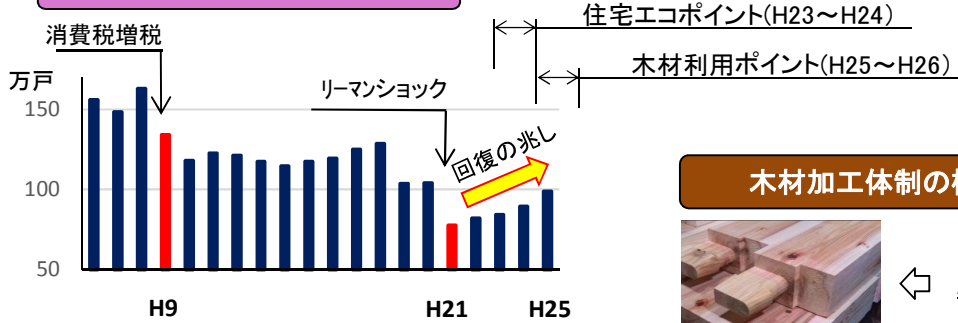
人工林の樹齢別面積(県内)



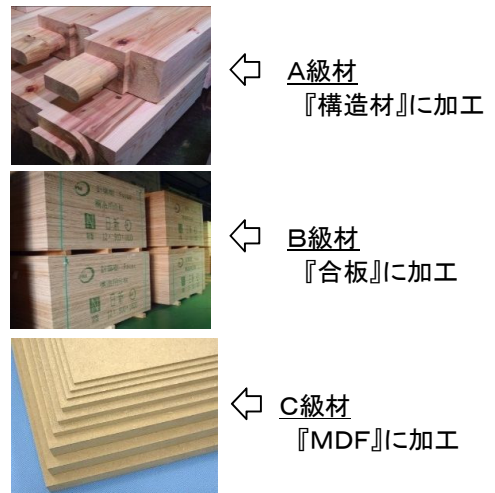
県産材の生産量(推移)



住宅着工戸数(推移)



木材加工体制の構築



木材輸出



【課題解決への方向性と処方箋】

方向性（処方箋）

- 地域資源を活用した「林業の成長産業化」の実現に向け、地域の実情に合った、木材の「生産・流通加工・需要拡大」対策をさらに進める必要がある。
- 景気の腰折れを防ぐため、経済波及効果が高い**住宅建築の促進と住宅への木材利用の拡大**に加え、**海外市場への販路拡大**が必要である。
- 地球温暖化防止や低炭素循環型社会を構築するために、森林吸収源対策を担う林業・木材産業の振興に必要な**安定した財源の確保が不可欠**である。

今後の政府予算編成に向けて

【徳島発の政策提言】

具体的内容

提言① 「森林整備加速化・林業再生基金事業」の継続

- ・ 林業の成長産業化を牽引する「森林整備加速化・林業再生基金事業」を継続すること。



提言② 大胆な木材需要拡大対策

- ・ 「住宅エコポイント」制度において、低炭素・循環型建築材料である「地域材」を利用した**新築・改修工事をポイント対象として加算**するなど、制度の拡充を図ること。
- ・ 東京オリンピック等の関連施設を、**木材や木造建築の展示効果が高い施設**として整備し、木の文化や技術を世界に発信することで**輸出拡大に結びつける**こと。



提言③ 森林吸収源対策に必要な「安定財源」の確保

- ・ 地球温暖化防止に大きく貢献する林業・木材産業の振興に必要な**安定的な財源の確保**と、同対策に重要な役割を担う**地方の財源確保**を早急に講じること。

将来像

- ◆ 林業の成長産業化と木材利用拡大による地域経済の活性化と雇用の拡大！
- ◆ 森林・林業・木材産業の振興による経済好循環と地球温暖化対策への貢献！

定年して
ぶらぶらしとったら
ほうけるでよ。



徳島は宣言する
VS東京

ゼニのないヤツあ
俺ンとこへ来い。
が、ホンマにある町。



徳島は宣言する
VS東京

ここ、
Wi-Fi飛んどるでよ。



徳島は宣言する
VS東京

家賃2万円。
改装自由。
インターネット完備。
つまり、
何でも、できるでよ。



徳島は宣言する
VS東京